

鹿兒島県立 川内高校 P T A 新聞

第 66 号

編集
県立川内高等学校
発行
PTA文化部
鹿兒島県薩摩川内市御陵下町
電話(23)7274

『絆』

PTA会長 宮 司 信 吾



創立百十四年目の歴史と伝統ある、川内高校の平成二十三年度PTA会長を務めさせて頂くこととなり、職責の重さを実感しております。若輩者の私ですが、歴代会長の皆様同様「PTAは子供たちと先生方の応援団」という思いを引き継ぎながら、新役員と共に精

一杯頑張りますので、PTA会員の皆様のご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。
去る、三月十一日、「東日本大震災」というすさまじい自然災害の猛威を私たちは目の当たりにすることとなりました。日々拡大していく被災地の惨状に誰もが復興・復旧を願ひ、何か小さいことからでも被災地を支援しましょう……と動き始めた頃、川内高校生徒会を中心に「Eメールを送るた

めの作品展示・義捐金募金活動・文化祭でのチャリティーバザー」等、川内高校の子供たちと被災地を結ぶ『絆』が素晴らしい形として生まれました。子供たちの「行動力・決断力」にただ感心するばかりです。もちろんこの『絆』をバックアップし支えて頂いたPTA会員並びに諸先生方のご協力・ご指導に心より感謝致します。川内高校の子供たち一人ひとり考えが違ふなかで、何か一つの目標に向かつて一丸となり意思統一が出来たということは、日本人としておかしいと言いたくなるような事件・事故が多い中、無縁社会と呼ばれる昨今ではありますが、「そんなことないよ」「大丈夫だよ」と私たち大人へ重要なメッセージを送ってくれました。今さらなが

ら子供たちの人間としての成長という大ききを感じることが出来ました。2011春、子供たちがそれぞれ様々な思いで築き上げた『絆』を人生の誇りとして忘れることなく、仲間(友達)を大事に、思い出深く意義のある高校生活を送って下さい。
私たち保護者も川内高校という素敵な場で出会えた「一期一会」を大切に、教育熱心な諸先生方とコミュニケーションや連携をとりながら『絆』を創り上げ、人生の先輩として何らかのアドバイスを送り、文武両道を目指す子供たちが充実した、楽しい高校生活が過ごせるような環境づくりに努め、子供たちのために明るく未来を約束できるPTA活動を積極的に進めてまいります。

風に立つライオン

校長 山之口 大



活や人生観が変化したのは間違いないようです。特に、この大震災で国民の心に深く刻み込まれたことは、救命や捜索活動に当たる自衛隊員や消防士、警察官、そして被曝の危険を顧みずに立ち向かう東京電力関係者などに代表される「公のために尽力する姿」ではないでしょうか。

では、「これまで『自分は何がしたいか』という視点だけで進路を語っていた生徒が、『家族や地域のために何ができるか』という視点で進路を語るようになってきた」と教師たちは語っています。また、岩手県立釜石高校の一年生は、「高校生活の中で『人のために生きる自分を形成したい』と思う」と決意を述べています。また、全国の地方公務員の採用試験では消防士希望の受験者数が増えています。

「この偉大な自然の中で病と向かい合えば／神様について人について考えるのですね／やはり僕たちの国は残念だけれど何か／大切なところで道を間違えたようですね」
診療所に集まる人々は病気だけれど／少なくとも心は僕より健康なのですよ／僕は来て良かったと思っています／辛くなくないと言えは嘘になるけどしあわせです。／空を切り裂いて落下する滝のように／僕はよどみない生命を生ぎ

たい／キリマンジャロの白い雪それを支える紺碧の空／僕は風に向かつて立つライオンでありたい」
女性医師もこの歌の青年医師と同様、自分が生まれてきた意味は、なぜ医師という職業を選んだのかなど、自問の末での結論だったことでしょう。
国家的危機を乗り越えて日本が復興するには長い年月が必要となります。そして復興の主力は若者に委ねられることとなります。川内高校の生徒諸君は勉学に励み、心身を鍛えて欲しい。そして、自分の進むべき道をきちんと据え、困難な状況の中にあっても希望と誇りを失わず、毅然として前に進んで欲しいと思います。

東日本大震災から四ヶ月経ちました。東京大学の御厨教授が、日本の歴史を区分する時、今までの太平洋戦争後の「戦後」から今は「震災後」という言葉が用いられるようになるだろうと述べていますが、三月十一日を境に、被災者だけではなく国民の生

進研模試のベネッセ社が発行する冊子に被災地の高校生の意識がどう変わったかという記事が載っていました。被災地の高校生にははつきりと「公に尽くす」という意識が芽生え始めています。宮城県立気仙沼高校

NHKが、被災地の病院で勤務する女性医師の姿を取り上げていました。東京の病院を辞め、被災地で働く姿は、歌手のさだまさし氏がケニアで国際医療ボランティアとして三年間勤務した青年医師の実話を基にした「風に立つラ

ら子供たちの人間としての成長という大ききを感じることが出来ました。2011春、子供たちがそれぞれ様々な思いで築き上げた『絆』を人生の誇りとして忘れることなく、仲間(友達)を大事に、思い出深く意義のある高校生活を送って下さい。

私たち保護者も川内高校という素敵な場で出会えた「一期一会」を大切に、教育熱心な諸先生方とコミュニケーションや連携をとりながら『絆』を創り上げ、人生の先輩として何らかのアドバイスを送り、文武両道を目指す子供たちが充実した、楽しい高校生活が過ごせるような環境づくりに努め、子供たちのために明るく未来を約束できるPTA活動を積極的に進めてまいります。

第55回九州地区高等学校PTA連合会大会

～肝美らさ沖縄大会～

期日 平成23年6月16日(木)・17日(金)
会場 第1日目 パシフィックホテル沖縄
第2日目 沖縄コンベンションセンター(展示場・劇場)

メインテーマ

「親ごころ、子の思い、伝え合い、夢を語ろう」～優てい、揃てい、御万人ぬ肝美らさ～

スローガン

- ① 強く、たくましく、心豊かな青少年を育てる原点は「家庭教育」にあることを再認識しよう
- ② 親・保護者と子、親・保護者同士、親・保護者と教師が共に学び行動するPTA活動をさらに推進しよう
- ③ 学校・家庭・地域社会は連携を深め、青少年が「夢と希望」を育む環境づくりを推進しよう
- ④ 限りなく進展するデジタルメディア社会の中で、対人関係のスキルが身に付く環境づくりに努めよう

出発当日の朝、バケツをひっくり返した様な大雨の中、やっと辿りついた空港、暴風雨の中、無謀にも飛び立った飛行機は、あつと言つ間にブルスカイが広がる、キラキラと輝く島、沖縄へ私達を運んでくれました。気温32度、セミの音が響き渡る中、第55回九州地区PTA連合会は上記のメインテーマとスローガンを掲げ開催されました。

沖縄には「親め言ゆしごとや、肝に染みてい」との言い伝えがある様で、まず私達親が率先して力を合わせ、共に学び、活かす事が肝要であり、子供達に、親としての生きざまをしっかりと伝えていく必要がある。親としての責務を自覚し、日常的に学習を積み実践すると言ふ趣旨の元、私達は、第三分科会の高校生の食とPTA活動をテーマにされた、食育教育研究家の高山厚子先生の講演会、PTA活動実践報告、協議に参加致しました。内容は、何れも立って行く子供達に、食べる事への興味、食材を選ぶ知識を、親の背から学ばせる、共に食事の支度をしながら味見をし確認をし、会話の中から知識・知恵を伝える……という先生のお話にとても衝撃を受けました。毎日の慌ただしい生活の中で、「家族に食べさせなきゃ」という思いだけが先走り、「共に」などと考えもしなかつた事、又、早寝早起き、朝ごはんは体内リセットに繋がる、規則正しい生活は、子供達に伝える事、学ぶ事が多い……と理解はしていても、現実には時間に追われる様に過ごしている事、先生のお話が進む中、反省させられる事がいっぱいでした。が、まだ間に合う!! 私達の親から教わった家の味、祖先の味、地元のを、普段の生活の中で、ごく自然に父や母と、子供達と共に作り、味見をし、会話をし、又私も教わり伝えていく事を心掛け、難しく考えず、出来ることから取り組んでいこうと前向きに受け止めた次第でございます。

今回この様な素晴らしい機会をお与え下さいました事に深く感謝致します。ありがとうございます。

新任者紹介

今年度は、新しく14名の先生方が本校に赴任されました。川内高校のさらなる発展のために尽力して下さる、意欲にあふれた先生方です。どうぞよろしくお願いいたします!



国語科(13H)担任
田之上 浩樹 先生
川内高校の生徒のみならず、大人も一緒に学びたいと考えています。よろしくお願いいたします。



地歴公民科(34H)担任
瀬戸口 忍 先生
約20年ぶりに川内へ帰ってきました。川内高生、頑張れ! 私も頑張ります。



数学科(36H)担任
小島 義幸 先生
生徒と一緒に汗をかき、共に成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



数学科(24H)担任
長光 優樹 先生
広島から2年間の人事交流で来ました。生徒の明るい未来のために尽力していきます。



数学科(15H)担任
精松 祐介 先生
川高一の産し系になれるように限界突破で努力したいと思っています。川高生皆さん、共に頑張りましょう!!



数学科(12H)副担任
寺尾 博信 先生
いつも笑顔で、明るい学校を作るために頑張っています!!



英語科(18H)担任
上 島 恵介 先生
カミハタです。どうぞよろしくお願いいたします。



英語科(33H)副担任
下川路 香織 先生
三年間の育児休業を終え復帰しました。また川高生のために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



英語科(27H)担任
上 畑 浩二 先生
精一杯の努力をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



英語科(17H)副担任
藏 明広 先生
一生懸命頑張りまわすのでどうぞよろしくお願いいたします。



英語科(38H)副担任
是 枝 敬史 先生
川高生の皆さんに言語の奥深さ、学ぶ楽しさを伝えたいと思います。よろしくお願いいたします。



英語科(28H)副担任
増 山 こすえ 先生
中学卒業以来久しぶりに帰ってきました。川高生のために頑張ります。よろしくお願いいたします。



文化部長と副部長という大役を命ぜられ、やむなく、そして三十六年ぶりに川内高校の門をくぐることになりました。前々古田PTA会長と同期の27期生。部活動はラグビーで、先日講演に訪れた松永信也君とも一緒にプレーしていました。吉川小学校、高城東中(現平成中)出身です。

- 研修視察の実施 ● 広報活動
- 教育の諸問題に関する調査

文化部長と副部長という大役を命ぜられ、やむなく、そして三十六年ぶりに川内高校の門をくぐることになりました。前々古田PTA会長と同期の27期生。部活動はラグビーで、先日講演に訪れた松永信也君とも一緒にプレーしていました。吉川小学校、高城東中(現平成中)出身です。

文化部長 部長 山口章二(14H) / 副部長 川路ゆかり(34H)

副部長の清松様(34H)はじめ部員の皆様と一緒に活動して参りますので、是非ご協力の程、宜しくお願い致します。

第一学年 委員長 桑原重隆(11H) / 副委員長 庵 綾子(15H)

今年度の一学年の努力目標は、七項目あります。これをとつても一年生にとっては重要な目標だと思えます。

1. 基本的な生活習慣の確立では、先生方・先輩たち等への挨拶。これは、人として最低限の行為ではないでしょうか。2. 基礎的な学力の充実では、一年で学ぶ内容は、二年・三年で活かされてきます。毎日の勉学を怠らず頑張りましょう。3. 適切な進路の選択については、何事に対しても基礎が大切です。4. 適切な進路の選択については、何事に対しても基礎が大切です。5. 適切な進路の選択については、何事に対しても基礎が大切です。

生活指導部 部長 三角文孝(35H・11H) / 副部長 清松正智(34H)

第二学年 委員長 福山勝広(28H) / 副委員長 南 弘昭(21H)

生活指導部 部長 三角文孝(35H・11H) / 副部長 清松正智(34H)

第三学年 委員長 長嶺英博(33H) / 副委員長 今藤高一(32H)

平成23年度 P T A 役員・各部の活動内容

総務部	部長 P T A 会長 / 副部長 副会長
会長	宮司 信吾 26H
副会長	田中 康代 23H
米澤 美樹 37H	田中 英人 14H
榎木 一幸 27H	植村 論 教務
古里洋一郎 35H	
藤崎 恭一	

各部活動の連絡調整 ● 会計に関する事 ● その他の部に属さない事項

生活指導部 部長 三角文孝(35H・11H) / 副部長 清松正智(34H)

厚生部 部長 吉永真由美(26H) / 副部長 瀬口俊二(18H)

ラグビー部



私たちラグビー部は、三年生が引退した後一年生7名、二年生7名、マネージャー2名の計16名で活動しています。ご存じのようにラグビーは基本的に15名でプレーされる競技なので、ザブ等を考えると、あと5名の部員が欲しいところです。10人制形式や7人制形式の試合も実施されるので、大会に参加できないというところはありません。しかし、どの競技でも同様のことで、人数が多ければ多いほど活気が溢れるので、もっと部員数を増やしたいのが本音です。

ここ数年の大会の結果は一度年度の10人制の大会で県1位となり、沖繩で開催された九州大会に出場しました。昨年度も10人制(9人で臨んだ)の大会で4位となり、残念ながら九州大会に出場できませんでしたが、少ない人数ながらもまずまずの成績を残していると思います。ラグビーはルールが複雑ですが、理解するとこれ以上におもしろい競技はないと言われていきます。またラグビーで最高力を発揮するためには、次の四つの要素が必要と言われています。①スピリット(精神) SPIRIT ②体力(ストレングス) STRENGTH ③技術(テクニク) TECHNICS ④人格(パーソナリティ) PERSONALITY この一つ一つを充実させればさせるほど十分に力が発揮される時です。自我を捨てて、チームのために貢献する犠牲的努力。スピード、筋力、瞬発力、持久力、柔軟性、という運動を行なうための重要な要素。立派なプレーを望むための、優れた技術と状況判断。そのゲームの性格上、激しい闘争心を必要とする反面、自らを律する強い理性。

卒業生の中には全日本に選出された方も2名いらっしゃると聞いています。先輩方に続けるように良い成績を残すと同時に、ラグビーという競技を通して人間的にも成長していきたいと思っ活動しています。応援の方もよろしく願います。

部活動今昔物語

「ボールを出せ」スクラム ハーフからの指示……

スクラムを組み、ボールが入る保護者 桑原重隆

これらナンバー8の所に転がって。このナンバー8は、その日初めて任されたポジションで実は私でした。試合当日の練習でレギュラーのナンバー8が怪我をし、試合に出られなくなり、急ぎよフロントロー(P.R)の私がすることになりました。ナンバー8のポジションは、普通の練習でもしてないのに、どんな動きをしたら良いのか解らないまま、試合に臨みました。スクラムハーフから、ボールが来たら蹴り出せと言われ、すぐ出しました。「ボールを出せ」と……。

試合の相手は、県下でも強豪の宮之城高校(現 薩摩中央高校)でしたが、何点差で負けたか覚えていませんが、試合に出た思い出だけが脳裏に刻み込まれています。

当時の川内高校のラグビー部は、先輩が引退した後は、十五人揃わず、私と他二人(内一人卒業後東京大学入学)が補充メンバーとしてラグビー部に入部しました。その後も何年かは、部員が足らず、他の部からメンバーを補充していたそうです。今、思い出せば四十年前位前の事ですが、毎日毎日の練習が楽しく、多少の怪我でも何ともなかったような気がします。雨の中、雪の中を走り廻ったあの時の光景が浮かんできます。いい思い出として残したいものです。

剣道部

私たち剣道部は、男子6名、女子5名、計11名で活動しています。六月三日、四日に行われた、三年生の引退のあった県総体では、男女共に悔しい結果に終わってしまいました。自分自身の試合に後悔がないと言ったら嘘になりますが、チームとしては、三年生はこれまでの集大成を発揮し、全員が一致団結して剣道ができたと感じました。三年生が引退した今、まだまだ慣れない部分が多いですが、二年生が中心となって日々稽古に励んでいます。

今、私たちは基礎を中心とした稽古をしています。単調な稽古で、つまらなく感じることもありますが、基礎の大切さ、難しさも実感します。来年、私たちが三年生になったとき、今の三年生に追い付きたいです。そのためには、基礎がしっかりしていなければなりません。また、今までと同じ稽古ではなく、更に工夫を加えた稽古をして、心身ともに鍛えることも必要です。一人でそれを成し遂げることは難しいですが、全員で取り組むことによつて、それは実行できると思います。

そして、来年の最後の試合を悔し泣きではなく、嬉し泣きで終わられるように、これからも一所懸命稽古に取り組んでいきたいです。



弓道部

文武両道 濱崎志帆書 ナンバーワンを目指す オンリーワンの輝き

三年生10名が引退した後、現在、弓道部には二年生11名、一年生18名の計29名の部員が所属しています。

弓道は老若男女問わず、誰でも、いつでも始められる日本古来の武道であり、全国的な競技者人口も徐々に増加の傾向にあります。しかし、北陸地区で弓道部がある中学校はほとんどないため、部員のほぼ全員が初心者です。そのため一人一人が高い意識を持ち、仲間と切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいきます。

私は三年間弓道部に所属して、大きく分けて二つのことを学びました。一つ目は「礼儀」です。弓道などの武道において、教えて下さる先生はもちろんのこと、道場仲間、大会で競い合う他校の生徒、様々な場面で礼儀作法を重んじます。加えて私は部長という立場であったので、先生方など目上の人と話をする機会が多く、自然と敬語が身につきました。

二つ目は「仲間の尊さ」です。

部全体をまとめる立場にあったことは、私にとって非常に辛い時期がありました。どんな選択をすれば一番良いのだろうか。考え方の異なる部員たちを、どのようにして引っぱっていかうかと、何度も壁にぶち当たったり、何度か情けない姿を見せてしまっていたかと思えます。ですが、その度に励まし、支えてくれた副部長をはじめとする仲間のおかげで、私は部長としての役目を無事に終えることができました。今まで協力してくれた部員たちには言葉では言い表せないほど感謝しています。

卓球部

この弓道部で過ごした一日一日が私にとっての宝物であり、誇りです。ここで得たものを胸に刻み、これからの生活に生かして行きたいと思っています。

また、顧問の先生方も忙しく、部活に顔を出せない日もある現在、一年生への指導など、「これで本当に大丈夫なのだろうか」という不安もありながらも、みんなが考え、意見を出したりしながら日々練習を頑張っています。

放課後の練習ができる時間は、その日その日によって異なりますが、基本的には、決まっている練習メニューをこなす、時間に余裕のあるときには、違うメニューや各自が弱いと思う部分を克服するためそれぞれに合わせた練習をしています。平日は短い時には一時間、長い時には二時間半ほどの練習時間しかないのですが、ほとんどはいつも通りの練習だけで終わってしまいます。

休日には十分な練習時間が確保できているので、いつもとは少し違った練習までできます。川内高校生は、部活動だけでなく勉強や行事などにも力を入れている、それらすべてをこなすのは、とても大変なことだと思っています。最近あった行事では、文化祭の準備などで、部員全員が集まって活動することができない日もありましたが、それぞれに与えられた役割を果たしながら、忙しい毎日



の中で部活動までこなすことは本当にきついです。でも、それを乗り越えた後の達成感、川内高校生でなければ味わえないものだと思います。

演劇部



これから、いよいよ夏休みが始まります。夏休みには、毎日十分な練習時間が確保でき、他の学校の卓球部員と一緒に練習のできる合同練習会もあり、更に自分の技術を高めることができるので、これまで以上に頑張りたいと思っています。

最後の大会で後悔することがないように、残りの日々を過ごしていきたいです。

私たち演劇部は、三年生が引退した今、二年生4人、一年生5人の計9人で毎日楽しく練習に励んでいます。演劇部は男女や先輩後輩との隔たりがあまりなく、全員の仲が良いことが自慢です。入部する前は、初めての活動であり、いささか不安もありましたが、入部の初めから先輩方が明るく迎えてくださいました。それ以来、僕にとってこの部活は、学校生活の中で最も楽しい場所となりました。

演劇部が劇を発表する機会は、六月の校内文化祭の他にも、たくさんあります。演技・脚本・音響・照明・装置・衣装などスタッフの仕事もあり、一人一人違った役割を果たして一つの作品を作りあげるところが一番のすばらしさがあります。幕がしまつて、観てくださった方々の拍手をいただいたり「面白かったよ」と褒めてくださったりすると、作りあげるまでのさまざまな苦悩がふっ飛んで、言いようのない達成感に包まれます。

個人的な部員が多く、引つ張っていくことは難しいですが、これからもみんな力で合わせて良い作品を作っていきたいと思っています。



～今年の思いをこめて～



オープニング！ 書で思いを伝えます！



毎年恒例？



プラネタリウム、凄すぎ！



がんばろう！！



アイス売れました～。



生徒会バザーも盛況！



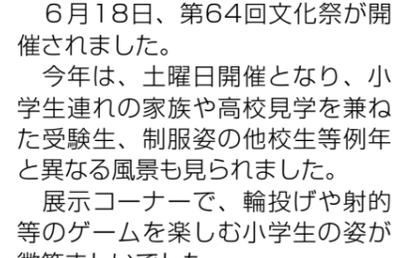
文化祭



心に響きます！



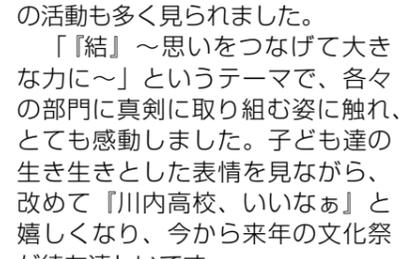
日本文化に触れながら…



子どもが大好き！



化学の芽を育てます！



ダンス・ダンス・ダンス！



祈りをこめて…



有志によるラオス報告



英会話同好会の初挑戦



中は本当に怖かった…

第64回 川内高校文化祭

『結』

～思いをつなげて大きな力に～ 文化祭

6月18日、第64回文化祭が開催されました。

今年、土曜日開催となり、小学生連れの家族や高校見学を兼ねた受験生、制服姿の他校生等例年と異なる風景も見られました。

展示コーナーで、輪投げや射的等のゲームを楽しむ小学生の姿が微笑ましかったです。

また、東日本大震災の義援の為に活動も多く見られました。

「『結』～思いをつなげて大きな力に～」というテーマで、各々の部門に真剣に取り組む姿に触れ、とても感動しました。子ども達の生き生きとした表情を見ながら、改めて『川内高校、いいなあ』と嬉しくなり、今から来年の文化祭が待ち遠しいです。

保護者の広場

学級懇親会

一学年

15H 保護者

去る六月四日、入学式の日より担任の精松先生が熱望されていた懇親会を、学年トップを切って開催することができ、二十二名という多数の参加をいただきました。乾杯の後、おいしい料理をいただきながらしばし歓談。家ではなかなか話をしてくれないので情報収集に来ましたといわれる方、中学の時なら簡単に諦めていたことにも粘り強くやるようになったといわれる方、お弁当の謎が解けましたといわれる方など様々な話



が聞けました。

ここ二カ月のうちに起こったさまざまな変化に親も子も一所懸命に向き合ってきた事がよく分かりました。

また、先生が話してくださる子供の様子や家での様子の違いを聞き、驚いたり笑ったりと大忙しでした。

先生がPTAの時から「このクラスの子供たちはいい子達です。クラスの雰囲気もすごくいい」とおっしゃっていました。裏付けするようないい思いがいろいろの保護者の皆さんでした。

次は子供たちと一緒に、その次は〇〇さんの地域で懇親会を二回目三回目も約束して(?)お開きとなりました。

一学年

28H 保護者

四月、クラスと担任の先生の発表がありました。當クラスでした。当たっちゃいました。一学年時には違うクラスでしたが、熱い先生のうわさは耳にし、野球の全校応援、体育祭等で拝見はしておりました。楽しい一年になりそうな予感がしています。

『教師が燃えれば生徒は燃える！保護者が燃えれば子供も燃える！何事にも全力で燃える日本一のクラスを目指そう！』



をクラスのスローガンに、まず手始めに保護者懇親会を開催しました。急な連絡にもかかわらず、二十七名もの参加をいただき、幸先のいいスタートとなりました。初めてお会いする方も直ぐに打ち解け、瞬間に時間が過ぎ、有意義な時間でした。なかなか学校のことを自宅では口にしないうわさの状況を先生方から聞き、親の知らない姿を他の保護者から聞き、わが子の意外な一面、知らなかった情報等を交換でき、非常に満足しています。懇親会を企画し本当によかったと実感しました。まだ開催していないクラスはぜひ開催してみてください。

二学年

32H 保護者

大雨の文化祭の当日の夜、32Hの懇親会を開催いたしました。会は、終始文化祭の話題で盛り上がりました。まず、わがクラスの生徒・保護者が全幅の信頼を寄せている愛すべき担任が、なんと他のクラス(?)のアンケートにより「怖い先生トップ3」にランクインされるといいうハプニングに、皆で大笑いしました。また、生徒会長のお父さんは、最後に息子の挨拶があるという事で、朝から緊張のあまり血圧が上昇し、献血ができなかつたとの話にも大爆笑でした。ちなみに、生徒会長の挨拶はもつと聞きたくらい短くてわかり易いといった印象でした。

副担は、幼い息子さんがみんなに一生分の「かわいい」を言ってもらい、「高校はいいとこだね」と



これからの二年生は学校の中堅学年として生活していきます。悩み、壁にぶつかる時がきつと来るでしょう。その時こそクラスのスローガンを思い出し、クラス全員で泣き、そして笑い、三月にはこのクラスでよかったと言える28Hを作ってほしいものです。そこに、微力ながらも懇親会での熱さを注げる保護者でありたいです。一年間共にごんばります。

大満足の様子でお母さんの仕事を少し理解してもらえたかもしれませぬ(笑) クラスの出し物は、昨年好評のミニドラマの続編で、生徒たちが創作し演技力もグンと上がり、楽しくさわやかに仕上がりに、皆で成長を感じる事でした。縁あって、このクラスで知り合えた私達保護者も交流を深め、子ども達がこれから立ち向かう厳しい日々を、一緒に乗り越えていこうと思っています。「こんな楽しい会をまたしたい」との声があり次会を計画中です。 追伸、他の会から駆けつけて下さった旧副担と保護者のお二人、有難うございました。

部活動の活動状況

〔平成二十三年度四月～七月〕

九州大会

★体育系

〔男子バスケットボール部〕

南九州 4 県対抗バスケットボール選手権大会

2 位

全九州高等学校バスケットボール競技大会

2 回戦

〔陸上部〕

第 64 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

南九州地区予選大会

女子 400 m

早崎 光 予選敗退

11 位

女子 400 m

亀崎優奈 予選敗退

19 位

女子 4 × 400 m リレー

4 位 ↓ インターハイ出場

(山田佳奈・亀崎優奈・尻無あかり・早崎光)

〔漕艇部〕

全九州高等学校ボート競技大会

男子ダブルスカル

(福留 慶・北島 裕)

女子クオドルプル

(前田早央里・池脇志歩・中村海旺・田畑結衣・留盛 空)

県大会

★体育系

全国高校総体鹿児島県予選

〔バスケットボール部〕

男子 優勝 ↓ インターハイ出場

女子 ベスト 8



〔漕艇部〕

男子ダブルスカル

優勝 ↓ インターハイ出場

(福留 慶・北島 裕)

男子クオドルプル

3 位

(川崎翔平・山崎友聖・初田大幸)

吉永大晃・崎山浩考)

女子クオドルプル

(前田早央里・池脇志歩・中村海旺・田畑結衣・留盛 空)

〔陸上部〕

400 m

2 位 ↓ 南九州大会出場

早崎 光

400 m

5 位 ↓ 南九州大会出場

亀崎優奈

4 × 400 m リレー

3 位 ↓ 南九州大会出場

(柏木真梨・亀崎優奈)

尻無あかり・早崎 光)

4 × 100 m リレー

(水流恵理佳・尻無あかり・亀崎優奈・早崎 光)

4 × 400 m リレー

(尻無濱正太・新門徹也・下尾崎一仁・崎山智彦)

〔水泳部〕

男子 50 m 自由形

1 位

男子 100 m 自由形

3 位

男子 400 m リレー

1 位 (大会新)

男子 800 m リレー

3 位

男子 400 m メドレーリレー

4 位

男子 100 m バタフライ

2 位



女子 50 m 自由形

6 位

女子 200 m 平泳ぎ

6 位

女子 200 m 自由形

8 位

女子 400 m 自由形

7 位

女子 400 m 自由形

8 位

女子 100 m 平泳ぎ

7 位

女子 100 m バタフライ

7 位

女子 400 m リレー

8 位

(今村 杏・北園恵理・四枝琴乃・野村 泉)

※以上の種目で九州大会出場権を獲得

〔野球部〕

第 53 回 NHK 旗争奪県選抜

高校野球大会

ベスト 4

〔バスケットボール部〕

南九州 4 県対抗バスケットボール

選手権大会県予選

男子

優勝

女子

ベスト 8

〔バレーボール部〕

全九州バレーボール総合選手権県予選

女子

ベスト 8

〔水泳部〕

県高等学校春季水泳大会

男子 200 m リレー

1 位

(福山拓夢・湯之原孝実・長嶺秀平・小園貴裕)

★文化系

〔書道部〕

第 49 回南日本七夕書道展

県議会議長賞

南日本書道会賞

三浦あかり
遠矢晃穂

全校応援

5月30日 野球NHK旗準決勝・陸上1600mリレー

3学年応援

6月1日 バスケットボール県予選決勝

